

人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ

2021 年 12 月 9 日

報道関係各位

三菱地所株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
三菱地所ホーム株式会社
株式会社三菱地所設計
株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ
MEC Industry 株式会社

～「ウッドデザイン賞 2021」 三菱地所グループ全体で 5 件受賞～ 「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」が 優秀賞（林野庁長官賞）を受賞

三菱地所グループの三菱地所株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、三菱地所ホーム株式会社、株式会社三菱地所設計、株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ、MEC Industry 株式会社は、ウッドデザイン賞 2021 において、「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」「Flat Mass Timber 構法『ROBRA』」「森の音」・北海道産トドマツスピーカー」など、合計 5 件が受賞。さらに、「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」がハートフルデザイン部門において優秀賞（林野庁長官賞）を受賞しました。

一昨年「最優秀賞（農林水産大臣賞）」を受賞した「PARK WOOD 高森」、昨年「優秀賞（林野庁長官賞）」を受賞した「CLT PARK HARUMI」に引き続き、3 年連続での上位賞受賞となりました。

<ウッドデザイン賞 2021 受賞プロジェクト一覧（全 5 件）>

【ハートフルデザイン部門「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」】

★優秀賞（林野庁長官賞）

【ソーシャルデザイン部門「Have a Nice TOKYO！」】

【ソーシャルデザイン部門「ザ・パークハウス 高輪松ヶ丘」における

型枠木材トレーサビリティ確保の取り組み】

【ライフスタイルデザイン部門「Flat Mass Timber 構法『ROBRA』】

【ソーシャルデザイン部門「森の音」・北海道トドマツスピーカー】

「ウッドデザイン賞」は、林野庁の補助事業として 2015 年より実施され、今年で 7 回目になります。木の良さや価値を再発見させる製品や取組みについて、木のある豊かな暮らしが普及・発展し、日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的としています。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2021

三菱地所グループでは、CLT をはじめとした国産木材の活用を推進しています。今後とも、国産木材の活用により、国内林業の活性化や山林防災、ひいては地方創生等につなげていきたいと考えています。



▲「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」
優秀賞受賞にて、賞状を天羽林野庁長官より授与



▲（左より）三菱地所 北海道支店 熊沢祥太
MEC Industry 取締役社長 森下喜隆

■受賞の概要

【ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園】優秀賞（林野庁長官賞）

（ハートフルデザイン部門 建築・空間分野）

三菱地所株式会社、株式会社三菱地所設計、MEC Industry 株式会社、株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ

＜概要＞

「北海道を体感する」をコンセプトに掲げた「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」では、北海道産の木材・石材などを建材として活用したほか、多くの家具を北海道産の木材で製作しました。

建物は、低・中層部は天井を木質化した鉄筋コンクリート造とし、中層部の1層を鉄筋コンクリート造と一部床に CLT を使用したハイブリッド造、高層部を純木造とした、高層ハイブリッド木造建築です。構造材には木材を約 1,050 m³使用し、うち約 80%が北海道産。地元産業の振興にも貢献します。

中層階では国産木材を「型枠材 兼 仕上材」（MI デッキ：三菱地所で特許取得済）として活用することで、気軽に木を感じられる空間を実現。中層階の一部のハイブリッド造では、新たな耐火大臣認定の取得により、CLT 活用事業機会の獲得を目指します。高層の木造フロアでは、床：CLT、壁：高耐力枠組工法（拡張型 SSW14 工法）を活用し、客室空間に柱型や梁型が出ない整形の空間を実現しました。

外装には、北海道産カラマツを活用した木製ルーバーなど、北海道産の木材を積極的に活用し、街の人びとと一緒に、経年によるゆるやかな移ろいを楽しむことができる建築物が誕生しました。

＜評価のポイント＞

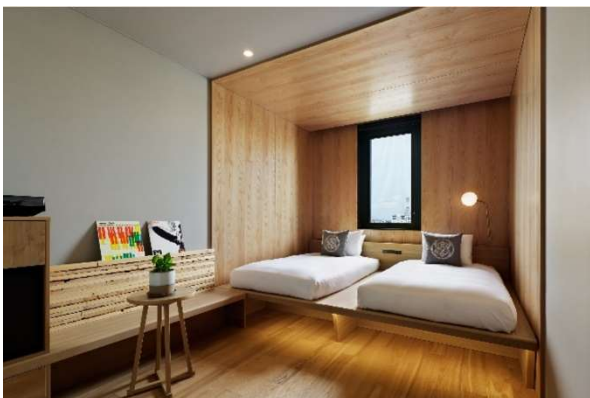
床材にトドマツ、外装のルーバーにカラマツなど、北海道産材を積極活用しながら、木質感を感じられる空間づくりに新たな技術を採用して、宿泊客にリラックスした時間を提供してくれるホテルのウッドデザインの良例と言える。上層3階を木造にすることで建築物としての重量を抑えるなど木を活かすメリットが考え抜かれている。



▲ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公 外観



▲ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園 エントランス



▲ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園 客室



▲ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園 レストラン

【Have a Nice TOKYO !】（ソーシャルデザイン部門 建築・空間分野）

三菱地所株式会社、CROSS Business Producers 株式会社、株式会社 4CYCLE

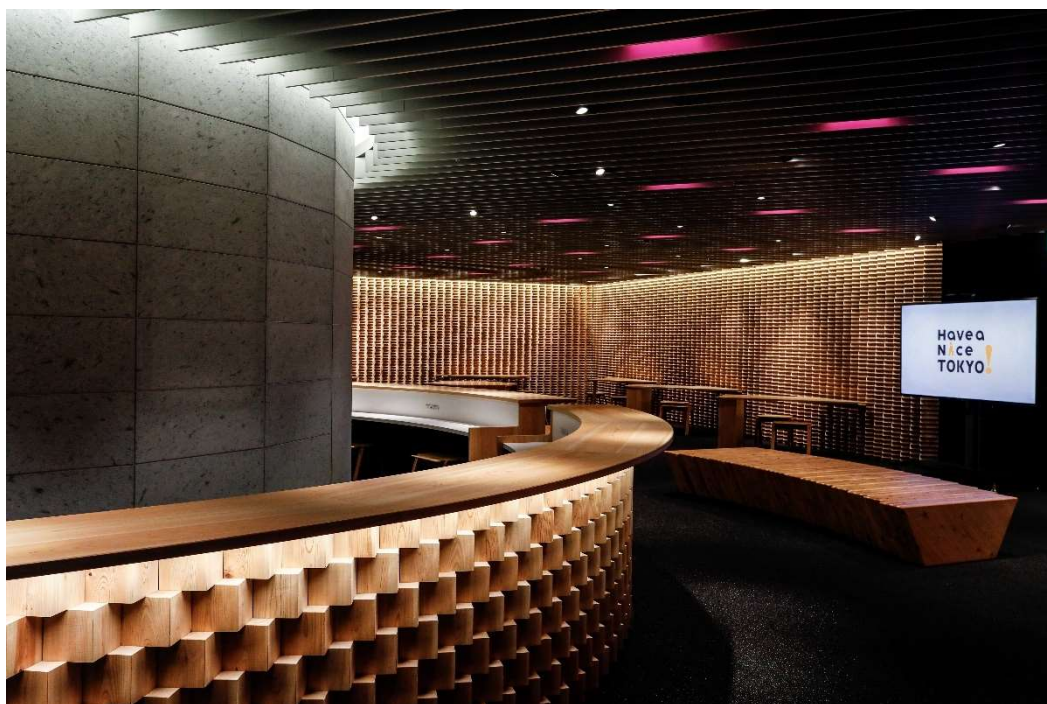
株式会社アーキヴィジョン広谷スタジオ、有限会社シリウスライティングオフィス

<概要>

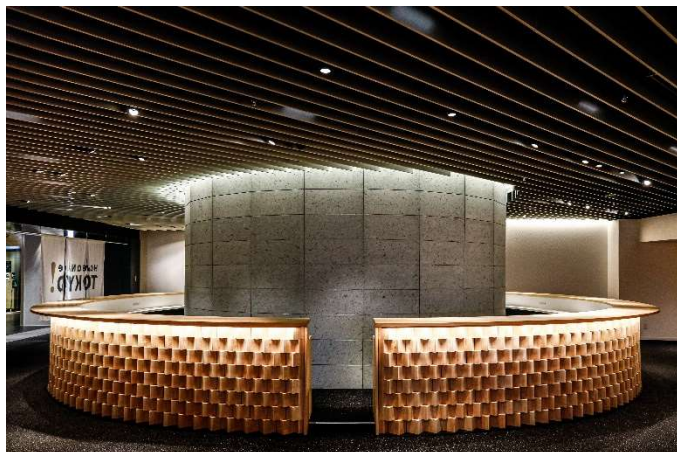
「Have a Nice TOKYO !」は、東京駅に面する丸の内のビル内部にある、様々なイベントに対応する施設で、多様なイベントの展示に対応する空間全体を紀州材で構成しています。壁にはスギ材の凸型積木ブロックを用い、そこにヒノキ材の様々なパーツを取り付ける展示システムを開発しました。また、中心となる円形のカウンターは、甲板をヒノキの無垢板に UV 塗装をして表面の強度を確保し、腰壁にはヒノキの立方体ブロックを用いました。

壁面展示システムは、差し込む角材の位置を自由に設定できるため、状況に応じた自由な構成が可能です。いくつかの寸法の棚板とデスク、ポスターホルダーなどを用意し、比較的軽量のヒノキ材を使用することで、誰でも簡単に設営できるよう配慮しました。また、展示システムをすべて木材で構成することで、木の新たな可能性をアピールします。

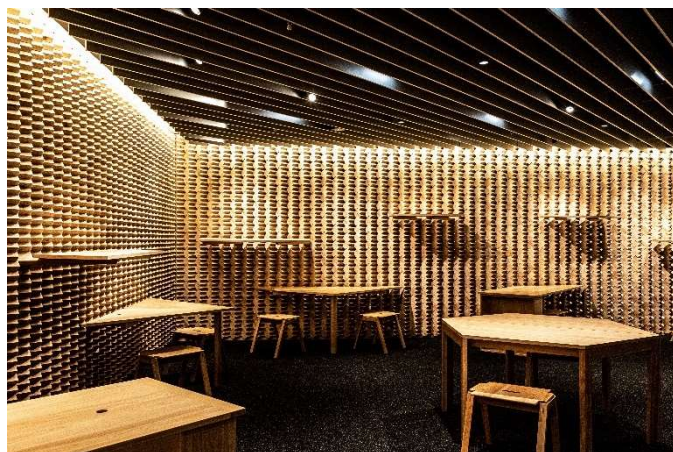
基礎照明や展示照明は天井のスポットライトで取り、積木ブロックの壁面は、前面上側からの間接照明と後方下側からの間接照明により、木材の質感と積木の表情を感じられるようにしました。また、天井とエントランスの門型には多様な色彩の照明効果を用意しました。



▲情報カウンター・POPUPZONE 全景



▲情報カウンター



▲POPUPZONE

【ザ・パークハウス 高輪松ヶ丘における型枠木材トレーサビリティの確保の取り組み】

(ソーシャルデザイン部門 コミュニケーション分野)

三菱地所レジデンス株式会社

<概要>

マンション建設時に利用するコンクリート打設用の「型枠木材」は、建設に利用する木材の約 45%を占めています。主に東南アジアの南洋材を使用していますが、原産国では違法な伐採による環境破壊や人権侵害、違法労働の横行などが課題になっています。この課題を解決するためには、森林の持続可能性が守られ、流通経路でのトレーサビリティを確保した認証材を活用することが必要になりますが、建設工事（型枠工事）は多くの事業者が関与しているため、トレーサビリティの確保が難しく、これまで認証木材と非認証木材が混在していました。

本取り組みではこれまで未整備であった建設工事における認証材トレーサビリティ確保のスキームを確立、日本で初めてトレーサビリティの第三者認証を取得し、当該認証スキームを活用したザ・パークハウス 高輪松ヶ丘新築工事において、世界初の型枠用合板における FSC 部分プロジェクト認証を取得しました。

これにより、現場で使われている型枠木材がいつ、どこで伐採・製造されたかが追跡できるようになり、違法な伐採や人権侵害などに配慮していない型枠木材が減ることで認証材の活用が進み、原産国の課題解決に寄与します。加えて、トレーサビリティを確保するスキームの確立は建設業におけるサプライチェーンの透明性を高めることにつながり、延いては認証材の普及拡大につながるものと考えています。

三菱地所グループは 2030 年度までに本取り組みを始めとした「型枠コンクリートパネルに持続可能性に配慮した調達コードにある木材と同等の木材を 100%使用」と公表しており、2030 年までに当社が供給する全物件で本取り組みが網羅される予定となっています。



【Flat Mass Timber 構法『ROBRA』】（ライフスタイルデザイン部門 技術・研究分野）

三菱地所ホーム株式会社

<概要>

「Flat Mass Timber 構法」は、これからの時代に適応した「木」を活かした構法として、強くフレキシブルな構造であり、環境負荷の少ない性能と、高いデザイン性を持ち、未来に亘って使い続けていくことのできるサステナブルな建築を目指して開発を行いました。

高知県産ヒノキの集成材厚板パネルと鉄骨梁によるハイブリッド構法で、新しい木造技術として2019年10月に特許を取得しています。また、2020年9月、当構法を用いた木造注文住宅ブランドを「ROBRA」と名付け、販売を開始しています。

壁や梁などの構造要素が空間内に出てくることが少ないシンプルな構造躯体で、高い耐震性能を保ちながらも従来の木造建築にはない自由なファサードデザインや空間デザインを実現できます。集成材厚板パネルを水平、垂直構面に使用し部分的に鉄骨梁を用いることで、木の性能を最大限に高め、既存工法では構造上難しかった最大6.6mの大スパンの空間や最大3.1mのキャンチスラブを可能にします。



▲「Flat Mass Timber 構法」で建築したモデルハウス 駒沢ステージ1 ホームギャラリー



▲「Flat Mass Timber 構法」施工現場



▲駒沢ステージ1 ホームギャラリー内観デザイン

【「森の音」・北海道産トドマツスピーカー】（ソーシャルデザイン部門 木製品分野）

株式会社ネーブル・ジャパン、株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ、留辺蘂木工株式会社、株式会社超越化研、浪花千葉普響計画有限会社、株式会社三菱地所設計、物林株式会社北海道チーム

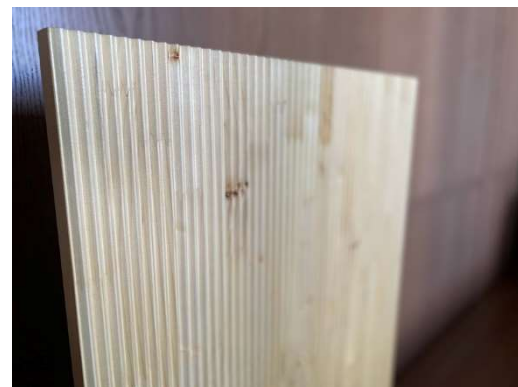
<概要>

北海道産トドマツスピーカーは、「北海道を体感する」をコンセプトモデルとしてデザインされた「ウッドスピーカー」で、2021年10月1日に開業した国内初の高層ハイブリッド木造ホテル「ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園」に導入しています。

ホテルの建設コンセプトである地産地消に合わせ、ホテルの外装に使われた北海道産トドマツの端材を再利用。木全体が振動（面振動技術）するので音を遠くまで届けることが出来、身体で受け止めることにより、耳の遠い方にも聴きやすい音を創出します。また、木材の繊維構造に着目し、木全体を共鳴させることで、素材の個性を活かした余韻や重なりのある「楽器のような未来な音」を生み出します。さらに、トドマツ表面に波形を施した「フルレンジ響板」と、低音域を補う「ウーハー響板」の一体構造となっており、「木材繊維のガラス化技術」による高音域の生成とナチュラルな木質感の維持を実現しました。



▲北海道産トドマツスピーカー



<本件に関するお問い合わせ先> 三菱地所株式会社 広報部 TEL : 03-3287-5200

※本資料の配布先：国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、林野庁林政クラブ、環境問題研究会、環境記者会